

第93回国立歴史民俗博物館運営会議議事要旨

日 時 令和6年10月29日(火) 13:30~15:10
場 所 国立歴史民俗博物館 大会議室 及び Zoom会議
出 席 者 [館外運営会議委員]
市澤委員(副議長)、江村委員(Zoom)、小畑委員(Zoom)、木川委員(Zoom)、
坂上委員、鈴木(淳)委員、徳丸委員、Batten委員、山田(賢)委員
[館内運営会議委員]
山田(慎)委員(議長)、内田委員、小倉委員、坂本委員、鈴木(卓)委員、
関沢委員、三上委員、大久保委員、高田委員、林部委員
欠 席 者 梅崎委員、村上委員
陪 席 者 館長、管理部長、総務課長、研究協力課長、博物館事業課長、広報課長
総務企画係、人事係

会議開会にあたり、西谷館長から挨拶があった。

また、総務課長から、定足数の説明があり、出席委員19名により本会議が成立している旨報告があり、併せて配付資料の確認が行われた。

○議 事

(1) 前回議事要旨確認

山田議長から、資料1に基づき、前回(令和6年6月3日開催 第92回国立歴史民俗博物館運営会議)議事要旨(案)の確認が行われ、原案どおり承認された。

(2) 審議事項

①教員公募要項案について

- ・教員公募要項案(日本古代史)

山田議長から発議があり、坂上教員候補者選考委員会委員長から、資料2に基づき、教員公募要項(日本古代史)について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

パートン委員から、外国語の著書・論文について日本語訳をつけるということは厳しいと思うので、概要の文書でも良いとするなどの対応をしても良いのではと意見があった。

(3) 報告事項

①教員候補者選考委員会報告

- ・日本中世史准教授公募の結果について

坂上教員候補者選考委員会委員長から、資料3に基づき、日本中世史准教授公募の結果について、報告があり、各委員から意見があった。

②共同研究委員会報告

- ・令和5年度共同研究終了課題の実績報告について

山田(賢)共同研究委員会委員長から、資料4に基づき、令和5年度に終了した共同研究課題(基盤研究3件)の実績報告について報告があった。

・共同利用型共同研究について

山田（賢）共同研究委員会委員長から、資料5に基づき、令和5年度に実施した共同利用型共同研究（館蔵資料利用型6件）の研究成果について報告があった。

山田（賢）委員長から、支援期間は1年と短いですが成果を公表する際には、歴博の共同研究の成果であることを記載するように公募要項で明示しても良いのではと、共同研究委員会内で意見があった旨、報告があった。

・日本歴史文化知奨励研究について

山田（賢）共同研究委員会委員長から、資料6に基づき、令和5年度に実施した日本歴史文化知奨励研究（2件）の実績報告について報告があった。

・人間文化研究機構基幹研究プロジェクト・共創先導プロジェクトについて

山田（賢）共同研究委員会委員長から、資料7に基づき、令和5年度に実施した人間文化研究機構基幹研究プロジェクト（5件）・共創先導プロジェクト（1件）の実績報告について報告があった。

③大規模改修整備計画について

山田議長から、資料8に基づき、大規模改修整備計画について、報告があった。

④歴博の活動状況について

山田議長から、資料9に基づき、歴博の活動状況について、報告があった。

（4）その他

①歴博の将来計画について

西谷館長から、資料10に基づき、第5期の将来計画策定について、報告があった。

木川委員から、予算が厳しい状況下で、研究費の確保・大型科研費をより積極的に獲得するなど検討されているか質問があった。

西谷館長から、一層の研究費獲得にむけて検討をしていきたいとの発言があった。

以上